

令和7年度 学校評価のまとめ【教職員】

1. 回答数（回答率）

| 1年 | 2年 | 3年 | 学年外 | 全体 |
|-----------------|------------------|------------------|---------------|------------------|
| 14/14 (100%) | 12/13 (92.3%) | 11/13 (84.6%) | 4/4 (100%) | 41/44 (93.2%) |

2. 評価（4件法：表上部の数字は評価点数）

| 4 | 3 | 2 | 1 |
|------------|--------------|--------------------|------------|
| ■ 十分達成している | ■ おおむね達成している | ■ どちらかというと達成されていない | ■ 達成されていない |

3. 各評価項目の回答結果

(1) 学校経営

| | 具体的評価項目 | 平均値 (中央値) | 回答結果(割合) | | | | |
|---|---|--------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 1 | 生徒の実態に即した学校教育目標が設定されており、教師間の共通理解の下に教育目標の具現化が図られている。 | 3.15 (3) | | | | | |
| 2 | 学校経営方針が明確に示されおり、望ましい教育活動が実践されている。 | 3.24 (3) | | | | | |
| 3 | 生徒の実態に即した目標が設定されており、望ましい学年・学級経営に努めている。 | 3.17 (3) | | | | | |

(2) 教育活動

| | 具体的評価項目 | 平均値 (中央値) | 回答結果(割合) | | | | |
|---|--|--------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 4 | 専門学科としての特色ある教育課程が編成されている。 | 3.37 (3) | | | | | |
| 5 | 教科や自立活動の指導では、分かる授業に努めており、そのための工夫・改善に取り組んでいる。 | 3.10 (3) | | | | | |
| 6 | ねらいが明確で、生徒が主体的に取り組むための創意工夫がされている。 | 3.05 (3) | | | | | |
| 7 | 学校行事や生徒会活動の充実を図るための創意工夫がされている。 | 3.12 (3) | | | | | |
| 8 | 望ましい行動や容儀など生徒指導に関する決まりを明確に示しており、状況に即した工夫・改善に取り組んでいる。 | 3.24 (3) | | | | | |

| | 具体的評価項目 | 平均値 (中央値) | 回答結果(割合) | | | | |
|----|--|--------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 9 | カウンセリングマインドをもって生徒や保護者の相談に応じている。 | 3.24 (3) | | | | | |
| 10 | 生徒のニーズに即した進路指導に取り組んでおり、希望する進路に即した進路決定に努めている。 | 3.37 (3) | | | | | |
| 11 | 生徒の健康や安全に対する態度の育成を図り、基礎体力向上に努めている。 | 3.20 (3) | | | | | |
| 12 | 生徒の命を尊び、人権を尊重した学習活動に努めている。 | 3.10 (3) | | | | | |
| 13 | 学校は部活動の活性化に努めている。 | 3.41 (3) | | | | | |

(3) 組織運営

| | 具体的評価項目 | 平均値 (中央値) | 回答結果(割合) | | | | |
|----|---------------------------------|--------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 14 | 各分掌部は適切な役割を分担しており、組織的な活動に努めている。 | 3.12 (3) | | | | | |
| 15 | 目的に応じた委員会の設置と運用に努めている。 | 3.17 (3) | | | | | |
| 16 | 生徒の実態や学校の教育課題を踏まえて校内研修体制が整っている。 | 3.17 (3) | | | | | |
| 17 | 教職員の資質向上のための現職教育の研修機会が設けられている。 | 3.10 (3) | | | | | |

(4) 教育環境

| | 具体的評価項目 | 平均値 (中央値) | 回答結果(割合) | | | | |
|----|------------------------------|--------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 18 | 生徒の安心、安全のための学校環境が整備されている。 | 3.20 (3) | | | | | |
| 19 | 生徒の学習に必要な施設設備が整っており、活用されている。 | 3.00 (3) | | | | | |

| | 具体的評価項目 | 平均値 (中央値) | 回答結果(割合) | | | | |
|----|---|--------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 20 | 学校教育活動全般の情報化が進められており、ホームページ等での情報発信に努めている。 | 3.27 (3) | | | | | |

(5) 開かれた学校づくり

| | 具体的評価項目 | 平均値 (中央値) | 回答結果(割合) | | | | |
|----|-------------------------------------|--------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 21 | 保護者とは必要な情報を共有ができるしており連携が取れている。 | 3.17 (3) | | | | | |
| 22 | 地域資源(人・物・情報など)を活用した教育活動を計画的に実施している。 | 3.34 (3) | | | | | |

(6) 生徒の教育成果 (担当学年)

| | 具体的評価項目 | 平均値 (中央値) | 回答結果(割合) | | | | |
|----|---------------------------------|--------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 23 | 日々の指導をとおして生徒の必要な基本的生活習慣が向上している。 | 2.98 (3) | | | | | |
| 24 | 日々の指導をとおして生徒の人間関係形成力が成長している。 | 3.05 (3) | | | | | |
| 25 | 日々の指導をとおして生徒の進路に関する意識が高まっている。 | 3.24 (3) | | | | | |

4. 評価結果の分析

(1) 高評価の項目

| | 具体的評価項目 | 平均値 | 中央値 | 「十分達成している」の割合 | 標準偏差 |
|----|--|------|-----|---------------|------|
| 13 | 学校は部活動の活性化に努めている。 | 3.41 | 3 | 41.5% | 0.49 |
| 4 | 専門学科としての特色ある教育課程が編成されている。 | 3.37 | 3 | 36.6% | 0.48 |
| 10 | 生徒のニーズに即した進路指導に取り組んでおり、希望する進路に即した進路決定に努めている。 | 3.37 | 3 | 36.6% | 0.48 |
| 22 | 地域資源(人・物・情報など)を活用した教育活動を計画的に実施している。 | 3.34 | 3 | 36.6% | 0.52 |

○ 学校は部活動の活性化に努めている。【項目 13】

肯定率（「十分達成している」+「おおむね達成している」）が 100%であり、部活動の運営や各種大会への参加による成果が見られていることがその要因と考えられる。

○ 専門学科としての特色ある教育課程が編成されている。【項目4】

専門学科やコースの特色が反映された教育課程により、学習内容、資格取得、デュアルシステム型現場実習や校外実習等の充実が評価されていると考える（肯定率 100%）。

○ 生徒のニーズに即した進路指導に取り組んでおり、希望する進路に即した進路決定に努めている。【項目 10】

職業の授業、進路面談、現場実習、求人開拓、情報提供の連動性が機能しており、進路決定のプロセスが明確で教職員と共有され、計画的に運用されていることが要因と考える（肯定率 100%）。

○ 地域資源(人・物・情報など)を活用した教育活動を計画的に実施している。【項目 22】

校外実習やデュアルシステム型現場実習、外部専門家の活用が高評価の要因と考える。

(2) 低評価の項目

| | 具体的評価項目 | 平均値 | 中央値 | 「十分達成している」の割合 | 標準偏差 |
|----|-----------------------------------|------|-----|---------------|------|
| 23 | 日々の指導をとおして生徒の必要な基本的生活習慣が向上している。 | 2.98 | 3 | 4.9% | 0.35 |
| 24 | 日々の指導をとおして生徒の人間関係形成力が成長している。 | 3.05 | 3 | 7.3% | 0.31 |
| 19 | 生徒の学習に必要な施設設備が整っており、活用されている。 | 3.00 | 3 | 12.2% | 0.49 |
| 6 | ねらいが明確で、生徒が主体的に取り組むための創意工夫がされている。 | 3.05 | 3 | 9.8% | 0.38 |

○ 日々の指導をとおして生徒の必要な基本的生活習慣が向上している。【項目 23】

生活習慣の向上については、大多数が「おおむね達成」に集中しており、評価はおおむね一致している。他の項目と比較して、高評価が少なく、低評価が多いため、評価の平均が3を下回っている。基本的生活習慣が向上している具体的な生徒像が教職員で共有されることが必要である。

○ 日々の指導をとおして生徒の人間関係形成力が成長している。【項目 24】

項目 23 と同様の傾向があり、おおむね達成レベルにはあるものの、社会性や対人関係スキルについて課題がある。生活や学習、現場実習など多様な場面で成長できるよう、自立活動の時間の指導を中心に系統的・継続的な指導に取り組むことで改善を図りたい。

○ 生徒の学習に必要な施設設備が整っており、活用されている。【項目 19】

評価にはばらつきがあり、必要な施設設備が整っていると感じている層と必要な施設設備が整っていないと感じる層が併存していると考えられる。限られた施設設備であることから、設備・ICT 機器・教材の稼働状況を把握するとともに、貸出ルールや障害発生時の対応フローを可視化したり、可能な範囲で必要な整備（予算請求）を行ったりするなどした。

○ ねらいが明確で、生徒が主体的に取り組むための創意工夫がされている。【項目 6】

おおむね達成レベルではあるが、十分達成していると回答した割合が低い。評価のばらつきは小さいが、授業計画時に生徒の主体性を引き出す工夫や手立てに課題があると考える。生徒の活動が受け身とならないよう、生徒自らが問い合わせを立てて課題解決に取り組むといった探究的な学びの実現を目指した授業改善に取り組みたい。

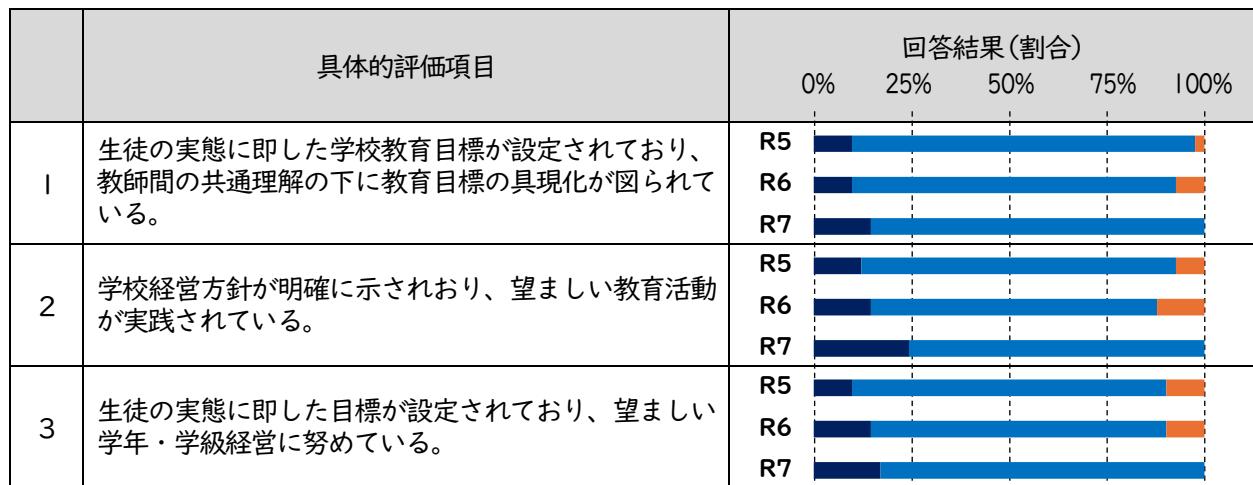
(3) 総合的な考察

標準偏差の平均値は 0.41 であり、全体的なばらつきは大きくなく、評価は比較的均一であると言える。評価が高い項目ほど教職員間の評価が一致しており、ばらつきが小さく満足度が高い傾向が見られる。一方、評価が低い項目でも標準偏差は全体平均に近く、極端な分散はないものの、学年や専門コースなどによる運用差を反映した小さな評価の差が存在すると考える（最小標準偏差：【項目 5】 0.30、最大標準偏差：【項目 22】 0.52）。

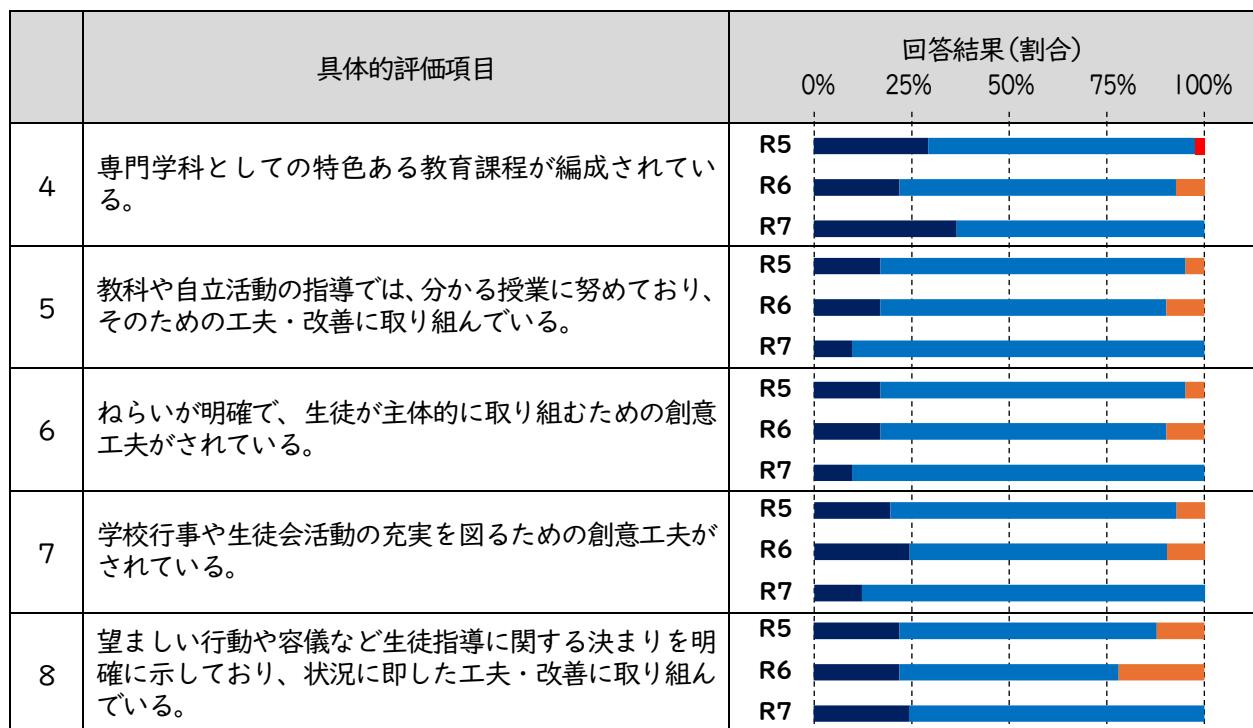
評価項目全体では平均値の平均が 3.18 と 3.00 を上回り、学校運営や教育活動に対する満足度はおおむね高めである。高評価の背景には、部活動の活性化、進路指導、専門学科の教育課程、情報化と外部発信といった具体的で目に見える取り組みが結果として反映されていることが考えられる。一方、評価の低い項目として「基本的生活習慣の向上」【項目 23】、「人間関係形成力」【項目 24】、「施設設備の整備・活用」【項目 19】が示され、さらに「ねらいの明確化と主体的学びの創意工夫」【項目 6】や「現職教育の研修機会」【項目 17】もやや低い評価であった。これらについては、生活や学習、現場実習等にまたがる運用基準の明確化と可視化、設備活用の平準化、自立活動の指導の充実を通じて、改善につなげていきたい。

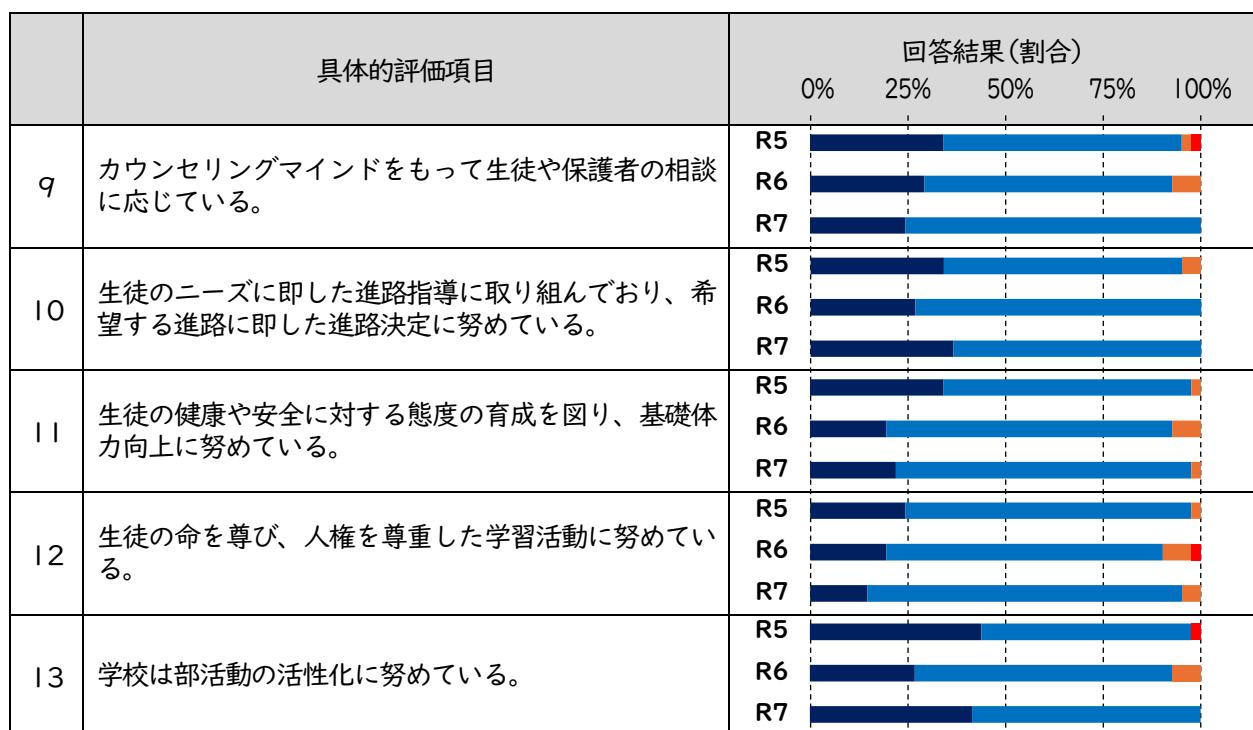
5. 過年度との比較【参考】

(1) 学校経営

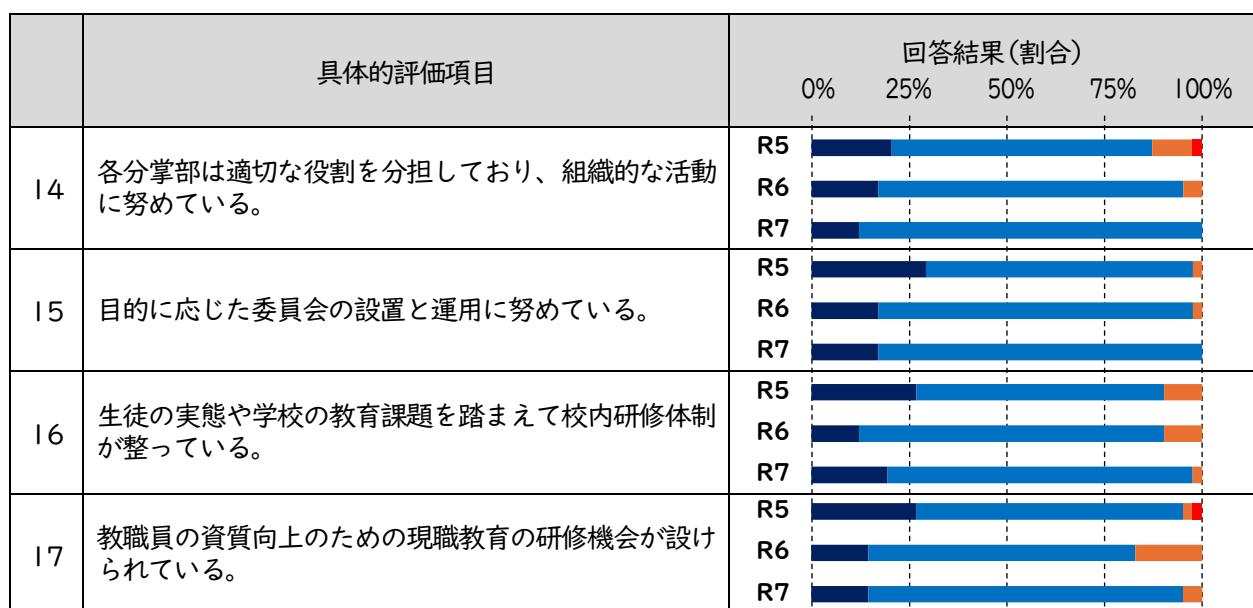


(2) 教育活動

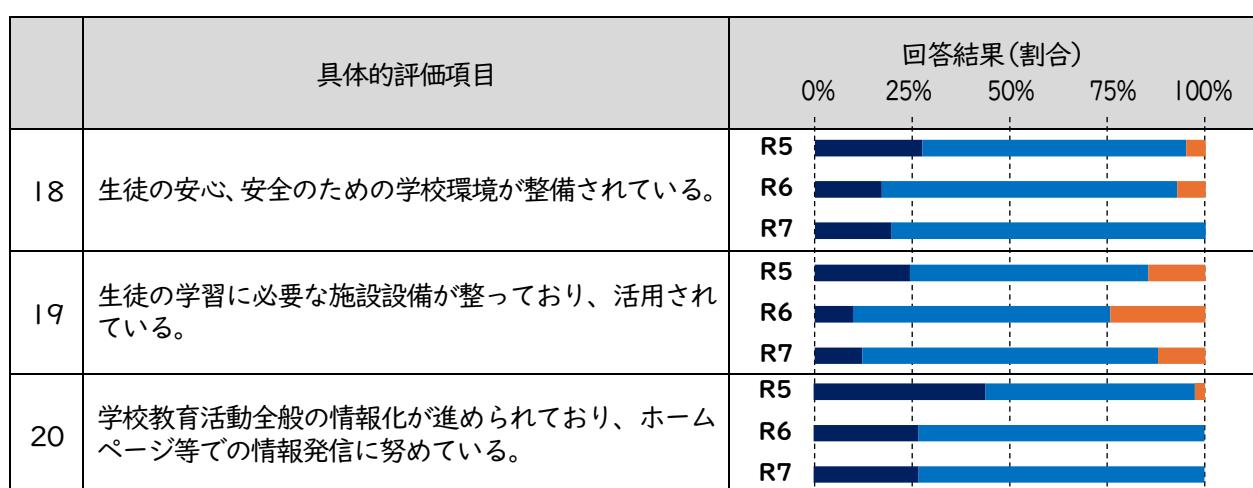




(3) 組織運営



(4) 教育環境



(5) 開かれた学校づくり

| | 具体的評価項目 | 回答結果(割合) | | | | |
|----|-------------------------------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 21 | 保護者とは必要な情報を共有ができるよう連携が取れている。 | R5 | | | | |
| | | R6 | | | | |
| | | R7 | | | | |
| 22 | 地域資源(人・物・情報など)を活用した教育活動を計画的に実施している。 | R5 | | | | |
| | | R6 | | | | |
| | | R7 | | | | |

(6) 生徒の教育成果(担当学年)

| | 具体的評価項目 | 回答結果(割合) | | | | |
|----|---------------------------------|----------|-----|-----|-----|------|
| | | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% |
| 23 | 日々の指導をとおして生徒の必要な基本的生活習慣が向上している。 | R5 | | | | |
| | | R6 | | | | |
| | | R7 | | | | |
| 24 | 日々の指導をとおして生徒の人間関係形成力が成長している。 | R5 | | | | |
| | | R6 | | | | |
| | | R7 | | | | |
| 25 | 日々の指導をとおして生徒の進路に関する意識が高まっている。 | R5 | | | | |
| | | R6 | | | | |
| | | R7 | | | | |

(7) 回答率推移

